

地域自慢 47

湊地区

湊町見守る坂道を後世まで
～坂道案内看板と「湊町坂道ものがたり」の活用～

坂道案内看板と、坂道の名前と由来を紹介する冊子である「湊町坂道ものがたり」の制作について、湊地区連合町内会の山下福一^{やましたふくいち}会長(取材時)、実行委員長^{いしだきよし}の石田清さん、湊地区連合町内会役員の皆さんにお話を伺いました。

○制作に至った経緯

きっかけは、地域の子ども会で作成した湊町にある坂道の紙芝居。この紙芝居を見た保護者から「この坂は知っている」「その坂は知らない」などの反応があり、坂道の名前を知らない人たちが増えていると実感しました。湊町の発展を見守ってきた坂道の名前と由来を、後世につなげたいという思いから、市の事業である「元気な八戸づくり市民奨励金」を活用し、湊地区連合町内会が制作することになりました。

○地域一丸となった制作!

坂道案内看板の制作は、八戸工業大学第一高等学校の協力を得て、生徒が作成に携わりました。看板の設置は、各町内会長が設置場所となる土地の地権者に相談し、許可を得たうえで行いました。連合町内会と地域にある八戸工業大学第一高等学校、

また、地域に住む皆さんの理解と協力があったからこそ、坂道案内看板の設置が実現できたと思います。

○反響と今後の坂道を活用した取り組み

「湊町坂道ものがたり」は地区にある小学校や中学校の生徒、また、湊公民館やみなっ知などに配布していますが、市内外から大きな反響があり、4,500部作成した冊子はほとんどない状態となりました。ここまで大きな反響があったことを嬉しく思います。

今後は、坂道案内看板をメインに回るウォークラリーの開催を予定しており、地域内外問わず、参加者を募集したいと考えています。



坂道案内
看板



「湊町坂道
ものがたり」